

出前授業・模擬選挙	模擬議会・議員との交流	大学・若者グループ等との交流	【参考】 学校・民間団体が主体の取組
地方公共団体主体	他の機関(税務署)と連携	若者議会・こども議会	座談会等
小学生等	中学生	高校生	大学生・短大生・高専生
		特別支援学校生	若者層(10~20代)

⑤福井県 (人口759,777人) ※令和5年1月1日現在

実際の選挙公報を用いた模擬選挙

■取組の概要

- ・ 県立高校の生徒に対して、第25回参議院議員通常選挙の選挙公報を用いたグループワーク及び模擬選挙を実施。
- ・ グループワークでは、選挙公報を読みながら各候補者の政策等の良い点を討論。



実施概要

実施年度	令和元年度、2年度
対象者	県立科学技術高校の生徒
参加者数	1校 150名程度(令和元年度、2年度)
事業規模(予算)	45,000円(令和元年度。講師謝金、講師旅費、講師飲み物代)

■実施の経緯

<取組を開始するに至った経緯>

- ・ 令和元年7月21日執行の参議院議員通常選挙での臨時啓発について内容を検討している際に、県の明るい選挙推進協議会の委員より、①出前授業は実際の選挙公報を用いるべき②制度論や方法論を扱うよりも候補者の主張内容を比較して考えるべき等の意見があり、実際の選挙公報を用いて、生徒が候補者の主張内容を比較して考えるような出前授業を実施するに至った。

■実施の体制

<庁内の実施体制>

- ・ 選管職員5名が講師の補助等を行った(主担当は専任書記)。

<外部との連携体制>

- ・ 福井県明るい選挙推進協議会の委員5名が講師を担った。

■取組の効果・成果

- ・ 実際に執行中の選挙を題材に模擬選挙をすることで生徒の興味関心が高まった。
- ・ グループワークでは高校生ならではの意見があり、生徒一人一人が考えながら授業に参加している様子がうかがえた。

<これから取組を始める団体へのメッセージ>

参議院議員通常選挙は選挙期日がある程度決まっているため、業務の負担も考慮しながら計画的に役割を分担することで対応できました。
グループワークは生徒の自発的な参加が促せるので良い方法だと思います！

★より詳しい情報はこちらへ

【明るい選挙の推進 福井県】

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/senkan/akarui/akarui-senkyo-index.html>



■取組のステップとポイント（令和元年度の例）

【4月】県高校教育課への協力依頼

- ・選挙啓発や技術論だけでなく、候補者の政見の違いや各政党の政策の違いを比較するような出前授業を行いたい旨を伝え協力を依頼。県高校教育課から各学校へ実施希望校を募集。

【6～7月】事前準備

- ・高校から選管へ出前授業の実施依頼。
- ・県明るい選挙推進協議会に対して講師の実施を依頼。
- ・教員へ進行要領の説明や授業補助の依頼。
- ・取材対応に係る手続や、模擬選挙用の名簿作成。

<進行要領>

時間	進行内容
(8:30)	・講師が控室に集合完了 ・授業開始前に、事務局職員が袋詰め資料を各教室に1ずつ配付 →袋詰め資料：選挙公報および模擬投票用紙 →各教室の先生が受け取り保管する
(8:50)	・講師が各教室に到着し、授業開始 →事務局職員が講師を各教室に案内
8:50 ～8:55	■開始のあいさつ、趣旨説明 【各教室の先生（以下、先生）】 ・本日は「明るい選挙出前塾」ということで、福井県明るい選挙推進協議会から講師名さんにお越しいただきました

～9:10

■グループワーク

【先生】

- ・5～6人程度のグループに分かれるように指示
- ・各グループに選挙公報を一部ずつ配付

【講師】

- ・今日は皆さんに政治や選挙について考えてもらう「きっかけ」づくりとしての授業なので、そんなに難しいことはしていません
- ・今回は、「各候補者がどのような政策を訴えているのか」ということを皆さんで討論してもらい、発表してもらおうと思います
- ・今まさら行われている選挙の候補者のため、候補者の悪い点をこの場で発表するのは難しいので、各候補者の「良い点を2つ」、各グループで討論して決めてください
- ・9時10分から、討論して決めてもらった、各候補者の「良い点2つ」を各グループの代表者に発表してもらいます
- ・それでは、9時10分までグループワークを開始してください

※グループワーク中、講師および先生は各グループに巡回指導等を行う

<当日の流れ> ※参院選の公示後（7月9日）に実施

1. グループワーク

各教室内でグループに分かれ、実際の選挙公報（参議院選挙区選挙の公報）を読みながら各候補者の政策等の良い点を討論。



2. 模擬選挙

実物の投票記載台及び投票箱を使用し、模擬選挙。

- ・令和元年度においては、模擬選挙の結果は公表せず終了し、公表しないことのフォローアップとして実際の選挙の結果を確認するよう生徒に伝えた。
- ・令和2年度に実施した際は、参院選終了後であったため、模擬選挙の結果及び実際の選挙結果を公表し、授業の総括を行った。
- ・令和3年度以降は、選挙事務日程との兼ね合いや、新型コロナ等の影響もあり取り組めていないが、引き続き実際の選挙を題材とした出前授業に取り組んでいくことを予定。

【ポイント】

- ・生徒が各候補者の政策を比較し考えて模擬選挙が行えるように、選挙制度に関する説明等を割愛し授業の大半をグループワークの時間とした。
- ・当初、グループワークの議題は各候補者の良い点と悪い点を1つずつ探すこととしていたが、議論が白熱し中立性が保てないリスクがあったため、「良い点を2つずつ探す」ということに変更した。
- ・自然と話し合いになるように選挙公報は各グループに1枚のみ配布した。

① 事前準備

② 取組実施

③ 実施後